

令和2年3月18日

## 3月の木材価格・需給動向

### 1. 国産材(北関東)

栃木県では各地区とも原木生産は順調である。とくに鹿沼、日光地区からの入荷が多くなっている。製品市況は低調気味であるが、原木の荷動きは良く、元落も極めて少ない。間伐材、小径木も動いている。大型製材工場の手持ち在庫にバラツキがあるためか、原木価格にもバラツキが見られる。

群馬県でも原木の出材が多く、集荷は容易である。年度末に向けて一段落の感がある。工場土場の在庫は十分で未引取り材もある状況。依然、地場需要は低調であるが、大型物件や公共工事の受注残があり多忙である。注文が細くなりすぎて、生産性が落ちている。とくにプレーナー加工やモルダー加工が細かく、製材とのバランスが悪い。製品在庫は売行き不調で増加傾向にあるが、注文材が多いため極端な増加はない。

### 2. 米材

カナダ沿岸部の大手製材企業で原木供給大手でもある WFP 社のストライキが2/15に終了した。妥結までに7ヵ月半を要したことになる。一方、私有林保有の最大手 MOSAIC 社の伐採再開の見通しは立っていない。このためカナダの港頭在庫はほぼ払底状態であり、需要が米国側にシフトし、米国の港頭在庫も急激に減少している。産地輸出価格は10月比で\$50~60/千SC程の上昇。3月積み IS 級並の推定は前月比+10ドルの\$860になった模様。製品市況は米国住宅着工の好調を受けて続伸中で、ランダムレングス紙発表の15種平均価格(2/28)は\$427/Mで、1月下旬(1/24)に比べ+11.5%と急激に上昇している。また各社コンテナ不足からフレートの値上げ要請があり、第2・四半期以降はコストアップになると予想される。

1月の原木入荷量は142千 $m^3$ と低調なスタートで、カナダの出材減少の影響が出始めた。出荷量も155千 $m^3$ と入荷同様に低調。在庫量は180千 $m^3$ で依然1ヵ月割れが続いている。国内米マツ製材工場の稼働は保っているものの、荷動きは落ちている。消費税増税前の駆け込み需要の反動と季節的要因が重なったのが要因。東京木材埠頭の2月入荷は7千 $m^3$ (前月比57.0%減)、出荷は14千 $m^3$ (同17.8%減)、在庫は30千 $m^3$ (同18.6%減)。

### 3. 南洋材

サラワク州では天候が回復し、雨期開けの様相。輸出はインド向けが中心である。PNG では中国マーケットが弱いため、シッパーは第三国への販売を増やしているが、採算は悪化しており、今後撤退するシッパーも出てくると予測される。輸出税の増税でシッパーから値上げ要請があり、日本向け FOB 価格は反発。中国の原木在庫の過多で市場は弱いため、産地価格が上昇するとは考えにくい。昨今、インドはソロモンからの船積みを増やしている。3 月予想の原木入荷量は約 7 千 $m^3$ 、出荷量 10 千 $m^3$ 、在庫量 27 千 $m^3$ 。製材品は 35 千 $m^3$ 。

#### 4. 北洋材

産地では冬伐り材の工場入荷が本格化し、対日主力工場の生産は順調である。しかし依然、一部工場ではアカマツ原木が不足。良質アカマツ原木が減少し、小径木を対日向けにも混ぜざるを得ない傾向にある。中国向けは、新型コロナウイルスの影響で完全停止の状態になっている。各シッパーは下級材の処理に苦慮している。アカマツ完成品は各シッパーとも値下げ傾向だが、日本マーケットも混乱している。日本のメーカーはアカマツ原板の仕入は一服で様子見の状態である。現地挽き完成品は港頭在庫が過多で、1 月末の在庫（東京+川崎）は 41.0 千 $m^3$ で史上最高値を更新した。また新型コロナウイルス騒動と相まって、完全に荷動きは止まっている。昨今の円高により値崩れが懸念される。3 月予想の原木入荷・出荷量とも 5 千 $m^3$ 、在庫量は 17 千 $m^3$ 。製品は入荷量（東京+川崎）22 千 $m^3$ 、出荷量 18 千 $m^3$ 、在庫量 51 千 $m^3$ 。

#### 5. 合板

合板用原木について、東北産カラマツ、スギともに出材は安定しており、今のところ問題はない。ロシア材は出材限定的だが、価格は横ばい推移。米材は強含みのままで大きな変化はない。

1 月の国内合板生産量は 26.8 万 $m^3$ 、うち針葉樹合板は 25.8 万 $m^3$ 、出荷量は 25.7 万 $m^3$ となり、在庫量は 12.9 万 $m^3$ と前月より増加している。うち構造用合板の在庫は 10.1 万 $m^3$ 。針葉樹合板は全体的に荷動きが低調で、在庫量が徐々に増えているため、先行き弱含み基調になると予想される。輸入合板は荷動きが悪い上に、入荷量が多いため、強い停滞感が出ており、弱含みで推移。1 月合板輸入量は 24.2 万 $m^3$ と高水準となり、特にインドネシア産は昨年の平均数量を大幅に上回っている。マレーシア産は平均より少ない入荷となった。1 月の中国産は比較的多い入荷となったが、新型コロナウイルスの影響で先行き入荷は大幅に減少するだろう。インドネシアでは原木価格に先高感があるが、3 月の生産分は確保されている。マレーシアでは各工場の原木在庫は減少

傾向にあるが、全体的に受注が少ないため、現状に大きな変化はない。

## 6. 構造用集成材

2月のラミナ入港は適正。フィンランドでのストライキは2月中に収束した。しかし新型コロナウイルスにより船舶輸送の乱れが発生し、コンテナが入らず生産に影響が出ているメーカーもある。第2・四半期交渉で、WW管柱に5ユーロほどの値上げがあった。RWラミナも2~5ユーロ程の値上げが予想され、先安観は消えている。船運賃、欧州内のトラック輸送費の上昇が理由。中国から欧州向けの輸出が減少しており、折り返しの木材製品のコンテナが不足している。このため出荷できない構造用集成材が滞留する可能性がある。

## 7. 木材チップ

針葉樹原木の入荷量は暖冬で順調。広葉樹原木も国交省河川伐採事業により出材が多い。製紙用チップは使用は安価な解体系のピンチップ（破砕チップ）であり、各社とも増集荷に動いている。燃料用チップは大型バイオマス発電所の稼働開始により消費量は上向き、余剰感は解消してきている。製紙用チップの原木在庫量は潤沢にあり、在庫量も落ち着いている。燃料用は使用先の増加に伴い、在庫量は減少している。チップ、原木とも依然、運転手不足で物流・生産に支障が出ている。

## 8. 市売問屋

3月になっても構造材の荷動きが悪く、当用買いの域を出ていない。造作材の荷動きも悪くなっている。新型コロナウイルスの影響が大きい模様。しばらくは静かな動きになるだろう。中国からの製品入荷が無いため、集荷に苦慮している。

## 9. 小売

災害の修繕工事が一段落したところに、今度は新型コロナウイルスの影響が広がっている。木材は一部入荷に影響が出ているが、深刻なのは建材関係の待ったなしの納品、設置である。国産材製材品の荷動きは鈍い。スギ羽柄材は災害関係の需要が収束し、以前程の引合いはない。ヒノキの造作材が好調を維持。米ツガ注入土台からヒノキKD材への切り替えが見られる。米ツガ90角、105角は米マツにシフトせざるを得ない状況にある。WW羽柄材の4m材は、どのサイズも品薄だが、3m材は在庫がだぶついて弱含み。ロシア産アカマツの3m材は以前よりも需要が多く、出荷に入荷が追い付いていない。集成材では中国からの入荷予定の商品がストップし、特にアカマツ、ラジアータパインの商品がないので、メルクシパインへの注文が増えている。

1. 主要外材入出荷在庫量

		入荷量	出荷量	在庫量
米材	丸太	→	→	→
	製材品	→	→	→
北洋材	丸太	↘	↘	↘
	製材品	→	↘	↗
南洋材	丸太	↘	→	↘
	製材品	→		

矢印の表示は今月に対する翌月の動向を、下記のように示したものである。

- ↑ 急増・急上昇
- ↗ 増加・上昇
- 横ばい
- ↘ 減少・低下
- ↓ 急減・急落

2. 合板供給量

国内製造量	輸 入 量		
	計	インドネシア	マレーシア
→	→	→	→

3. 価格動向

樹材種	形 状	取引条件	樹種・寸法等	動向
国産材	丸太	卸売価格 (北関東、県内産 市場土場渡し)	スギ柱材 (3m) 2等	↘
			スギ中丸太 (3.65m) 2等	→
			ヒノキ柱材 (3m) 2等	↘
			ヒノキ中丸太 (4m) 2等	↘
	製材品 (関東近県産 板は東北産)	首都圏・市売り 価格	スギ柱角 (KD) 10.5×10.5×3m 特等	→
			スギ柱角 (KD) 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ間柱 (KD) 10.5×3.0×3m 特等	→
			スギ加工板 1.3×18.0×3.65m 特等	→
			スギタルキ 3.0×4.0×3.65m	→
			ヒノキ柱角 (KD) 10.5×10.5×3m 特等	→
ヒノキ柱角 (KD) 12.0×12.0×3m 特等	→			
ヒノキ土台角 12.0×12.0×4m 特等	→			
米材	丸太	産地価格	米マツ ISタイプ	↗
		国内卸売価格 (京浜・オントラ)	米マツ ISタイプ コースト	↗
	製材品 (カナダ産・ 現地挽き) (国内挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	米ツガ桁角 (KD) Std&Btr S4S 10.5×10.5×4m	→
			米マツ桁角 (GR) Std&Btr S4S 4・1/8" 13'	→
			米ヒバ土台角 (GR) Std&Btr 4・13/16" 13'	→
米マツ平角 (KD) 特等 10.5×24.0×4m	→			
南洋材	丸太	産地価格	メランティレギュラー	↗
		東京・水面筏 渡し価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 製材用	→
	製材品	産地価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 合板用	→
		東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトセラヤ 平割 (サバ州産)	↗
同上2.4cm×込み×4m 定尺1等	→			
北洋材	製材品	国内卸売価格 (京浜・オントラ)	アカマツ (KD) 30×40上級	↘
			アカマツ (KD) 16×40上級	↘
欧州材	製材品 (現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 間柱 2.7×10.5×3m S4S FOHC	→
			ホワイトウッド ラミナ 2.4×11.0×3m上 ラフ乱尺	↗
集成材	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 無化粧 JAS 5プライ	→
			スギ 無化粧 JAS 5プライ	→
	欧州産	//	10.5×10.5×2.98m	→
合板	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	タイプ2 F☆☆☆☆ 2.3mm厚 3×6	→
			タイプ2 F☆☆☆☆ 4.0mm厚 3×6	→
			型枠 12.0mm厚 3×6	→
			針葉樹構造用 12.0mm 3×6 F☆☆☆☆	→